

1. 交付金事業の名称 宮城県原子力・エネルギー教育支援事業
2. 交付金事業の事業主体 宮城県
3. 交付金事業の実施場所 宮城県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要となる以下の内容を実施した。

【県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

放射線測定器を整備し、放射線の学習に活用した。

箱模型実験キット等を整備し、発電・エネルギーの学習に活用した。

(2) 施設見学の実施

仙台火力発電所、量子科学技術研究開発機構那珂核融合研究所等を見学し、原子力・エネルギーの学習に活用した。

【市町村事業】(仙台市、大崎市、涌谷町、石巻市)

(1) 実験器具・実験材料の整備

火力・水力発電実験器、ハイドロカー（燃料電池自動車）等を整備し、活用した。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費 2, 787, 716円

交付金充当額 2, 787, 716円

6. 交付金事業の成果及び評価

- ・当事業により原子力・エネルギーについて児童・生徒等の理解が促進されたと回答した割合【理解度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標85%に対して実績97%、施設見学事業が目標85%に対して実績87%だった。
- ・施設見学事業を実施したことにより、県立高校では、原子力・エネルギーについて生徒の理解が促進されるとともに、物理や工業といった科目への興味関心と理解度が増し、授業への取り組み、将来について真剣に考える姿勢が向上した。また、実験器具・実験材料の整備事業を実施したことにより、実験器具等が充実し、実験への参加意欲が高まるとともに、エネルギーについての理解が深まった。
- ・原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として当事業が促進されたと回答した割合【満足度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標85%に対して実績89%、施設見学事業が目標85%に対して実績94%だった。
- ・本事業を実施したことにより、原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として実験器具・実験材料の整備、施設見学事業が促進されたと評価できる。